

## 団長あいさつ

私たち自由民主党さいたま市議会議員団は、131万さいたま市民の福祉と市民サービスの更なる向上を目指し、二元代表制の一翼を担う会派としての責任を果たすべく活動しています。

持続可能な開発目標（SDGs）のもと、世代をつなぎ、世代を超えた市民ニーズを的確にとらえ、「さいたま市に住みたい・働いてみたい・行ってみたい」、そんな魅力や風格のある、まちづくりに向けて、議員団でしっかり取り組んでまいります。

2月定例会では、令和の時代を迎え未来に向かって輝くさいたま市を実現するため、令和2年度予算案に関して、まちづくりや経済、子育て支援、健康福祉、防災など8分野・50項目を要望し、審査に臨みました。

新型コロナウィルスの影響で社会に様々な混乱が生じていますが、市民の皆様の生命・健康を守るためにこれからも全力を尽くしてまいります。

どうぞよろしく願い申し上げます。

団長 桶本大輔



あなたのまちの  
市民代表です

## 自由民主党さいたま市議会議員団

●ご相談・ご要望は  
お近くの市議へご連絡下さい

<p>市民生活委員会</p> <p>いとう まなぶ <b>伊藤 仕</b> (総務会長)</p> <p>北区宮原町3-326-1 2F TEL 668-6065</p> <p>北区</p>	<p>文教委員会</p> <p>なか やま きん や <b>中山 欽哉</b> (団長代行)</p> <p>見沼区深作3-4-17 TEL 829-1810</p> <p>見沼区</p>	<p>まちづくり委員会</p> <p>しま ぎき ゆたか <b>島崎 豊</b> (幹事長)</p> <p>桜区西堀8-17-8-503 TEL 678-1700</p> <p>桜区</p>	<p>保健福祉委員会 オリンピック・パラリンピック 競技大会支援特別委員会副委員長</p> <p>とばし ゆう じ <b>土橋 勇司</b> (副政調会長)</p> <p>桜区宿110-4 TEL 854-7918</p> <p>桜区</p>
<p>保健福祉委員会</p> <p>あお ぼ けん じ <b>青羽 健仁</b> (相談役)</p> <p>浦和区元町1-32-10 TEL 884-3377</p> <p>浦和区</p>	<p>議会運営委員会副委員長 文教委員会</p> <p>ほ あし かず ゆき <b>帆足 和之</b> (政調会長)</p> <p>浦和区仲町4-3-10 TEL 861-2345</p> <p>浦和区</p>	<p>総合政策委員会委員長</p> <p>たま い てつ お <b>玉井 哲夫</b> (副総務会長)</p> <p>浦和区上木崎1-9-20 2F TEL 711-3721</p> <p>浦和区</p>	<p>総合政策委員会 決算特別委員会委員長</p> <p>の ぐち よし あき <b>野口 吉明</b> (相談役)</p> <p>南区大谷口2015 TEL 882-4017</p> <p>南区</p>
<p>まちづくり委員会 大都市行財政将来ビジョン 特別委員会委員長</p> <p>はぎ わら あき ひる <b>萩原 章弘</b> (相談役)</p> <p>南区鹿手袋7-13-3 TEL 864-6451</p> <p>南区</p>	<p>市民生活委員会</p> <p>おけ もと だい すけ <b>桶本 大輔</b> (団長)</p> <p>南区根岸1-6-16 TEL 865-6800</p> <p>南区</p>	<p>文教委員会副委員長</p> <p>いし ぜき ひろ おみ <b>石関 洋臣</b> (会計)</p> <p>緑区三室691-1 TEL 873-8451</p> <p>緑区</p>	<p>市民生活委員会副委員長</p> <p>つ づきりょう た <b>都築 龍太</b> (副総務会長)</p> <p>緑区中尾1508 TEL 050-1129-8194</p> <p>緑区</p>
<p>総合政策委員会 地下鉄7号線延伸事業 特別委員会委員長</p> <p>え はら だい すけ <b>江原 大輔</b> (副幹事長)</p> <p>岩槻区本丸1-23-10 TEL 812-7667</p> <p>岩槻区</p>	<p>まちづくり委員会委員長</p> <p>あら い もり お <b>新井 森夫</b> (副政調会長)</p> <p>岩槻区徳力86 TEL 812-7218</p> <p>岩槻区</p>	<p>【さいたま市データ】 令和2年3月1日現在</p> <p>人口:1,315,107人 平均年齢:44.28歳 面積:217.43km<sup>2</sup></p>	

# Saitama City

自由民主党 さいたま市議会議員団 広報紙

令和2年  
春季  
特集号

発行 自由民主党さいたま市議会議員団 さいたま市浦和区常盤6-4-4 TEL048-829-1810・FAX048-833-6665 ■発行責任者 桶本 大輔

## 自転車競技大会より市民生活を優先します!!

この政策を実行しました(予算を確保)

子ども達に  
夢と希望を

- 通学路の防犯カメラ設置
- グリーンベルト設置
- 保育所・児童クラブへの処遇改善
- 安全に遊べる公園 ● 幼児教育の支援
- 教育環境の改善(真の文教都市を目指して)



- 高齢者福祉サービスメニューの充実
- 健康長寿のため運動、スポーツ施設の新設
- 安心安全で利便性の良い交通環境の整備
- 生涯学習・趣味を楽しむ環境や公園づくり

高齢者に  
憩いと安心を

この政策を推進します

- 歴史的・伝統的なお祭りや行事の継承
- さいたま城下町構想の推進
- 文化芸術振興条例の推進による、  
芸術品、モニュメントの設置
- 市立美術館の新設、若手芸術家の支援



文化・芸術の  
薫るまちへ

- スポーツ施設・競技場の新設・支援
- サッカーを中心としたスポーツ文化の醸成
- スポーツ少年団の支援 ● Jリーグ支援
- 生涯学習・趣味としてのスポーツ施設の充実

スポーツ振興  
サッカーのまち  
さいたま

### 新型コロナウイルスに関する相談窓口

さいたま市にお住まいの方は次の窓口でもご相談いただけます

- **ご自身の症状に不安がある場合等は...** お住いの区役所保健センターにご相談ください(平日8:30~17:15)
 

西区 TEL:620-2700 FAX:620-2769	北区 TEL:669-6100 FAX:669-6169
大宮区 TEL:646-3100 FAX:646-3169	見沼区 TEL:681-6100 FAX:681-6169
中央区 TEL:840-6111 FAX:840-6115	桜区 TEL:856-6200 FAX:856-6279
浦和区 TEL:824-3971 FAX:825-7405	南区 TEL:844-7200 FAX:844-7279
緑区 TEL:712-1200 FAX:712-1279	岩槻区 TEL:790-0222 FAX:790-0259
- **37.5℃以上の発熱が4日以上続き、強いだるさや息苦しさがある場合等は...** 帰国者・接触者相談センターにご相談ください  
(高齢者や基礎疾患のある方については、2日以上症状が続く場合にはご相談ください)

さいたま市 保健所 疾病予防対策課(8:30~17:15) TEL:840-2220 FAX:840-2230

※土日祝日も対応しています。

※夜間(17:15~翌8:30)は、次の新型コロナウイルス感染症県民サポートセンターにご相談ください。TEL:0570-783-770



<http://www.jimin-saitamacity.jp/>

私たちの考えは、ホームページをご覧ください。  
ご意見等をお待ちしています。

自由民主党さいたま市議会議員団 検索

原山地区の公共施設の  
適正配置について

**Q1.** 原山地区の中心部には、公民館等の大規模な公共集会施設がなく、自治会の敬老会すら出来ない。今後は人口密集度を勘案し公共施設の配置計画を見直すべきではないか。また土地が無ければ民間施設の借上げなども含めて検討すべきではないか？

**A1.** ご指摘の通り、公共施設の配置検討にあたっては、地域の人口分布を踏まえる必要があり、今後は、人口分布を落とし込んだ地図の活用を検討していく。また、公民連携手法も積極的に導入していきたい。

美園地区の均衡ある発展について

**Q2.** 美園地区は開発の進行により、大門・野田・新開発地区と地域分断が進んでしまっている。美園のコミュニティ形成にあたっては、開発格差の解消と、都市計画道路(美園1、2号線、中野田代山線)の早期整備による国道122号を挟んだ東西アクセスの向上が必要ではないか？

**A2.** 美園のコミュニティ形成には、美園地区自治会連合会を中心に様々な団体が連携していくことが重要で、市としてもその支援を行っていく。ご指摘の都市計画道路の整備については、今後の人口増加や交通状況の変化等を踏まえ、整備の検討をしていく。

一般質問



石関洋臣 議員

災害に対する意識と  
知識の向上について

**Q1.** 台風19号の水害を経験した今、改めて地域ごとに内容の違う防災ガイドブックの作成を含め、新たな防災ガイドブックの作成を検討していただきたい。

**A1.** 市は現在新たなガイドブックを作成している。QRコードを設け市のホームページやハザードマップ等様々な情報を入手可能であり音声コードも掲載していく。区ごとの防災ガイドブックの作成については、他の政令指定都市の作成状況などを踏まえ研究していく。

市街化調整地域における小学校について

**Q2.** 市街化調整区域では人口が一気に増えることは考えにくく、将来の存続を危ぶむ声も聞こえていることから、調整区域にある小学校の持続について、また教育環境の違いという観点について教育委員長の所見を伺いたい。

**A2.** それぞれの地域の実情に応じた魅力ある学校づくりを推進していくことが大切だと認識している。こうした課題の解消に向けて「未来を抱くさいたま教育推進プロジェクト」を設置して、その中でさまざまな視点で検討し、市全体を俯瞰してみながら、諸課題の解決に取り組んでいるところである。

一般質問



土橋勇司 議員

住んでよかった岩槻区のために

**Q1.** 国道122号線加倉北交差点の整備について伺います。

**A1.** 令和4年度末の4車線共有開始を目指し整備を進めてまいります。

**Q2.** 川通中学校前交差点整備について伺います。

**A2.** 11月に工事請負契約を締結し早期完了を目指して事業を進めてまいります。

**Q3.** 岩槻諏訪公園貯留施設整備について伺います。

**A3.** 令和4年度の完成に向け進めてまいります。また、雨水幹線の放流先である一級河川古隔田川が未改修であるため、管理者である埼玉県に対して、早期河川改修を引き続き強く要望してまいります。

**Q4.** 岩槻橋かけかえ事業について伺います。

**A4.** 既設橋梁の撤去後に新たな橋梁をかけること、また工事期間が濁水期に制限されることなどから、完成までに期間を要することとなります。しかしながら、本路線は大規模災害時の緊急輸送路に指定されていることから、一日も早い完成に向け事業を進めてまいりたいと考えています。

一般質問



江原大輔 議員

市民が訪れる庁舎や施設の  
受動喫煙防止対策の徹底について

**Q1.** 昨年7月に健康増進法が改正されて半年経過したが、受動喫煙防止対策はどうなっているのか。いまだに本市の庁舎や市民が利用する施設でタバコの臭いを感じるが、特定屋外喫煙場所は設置基準に適合しているのでしょうか。来庁する市民や、通学する児童に受動喫煙による健康被害が及んでいるという認識はないのですか。また市職員、教職員に対する禁煙外来の受診料補助は考えられないでしょうか。

**A1.** 本市では、市庁舎や公民館などの市民利用施設を含め、正規職員が常駐する571施設を第一種施設とし、うち451施設は敷地内禁煙としている。120施設には改正健康増進法に適合する特定屋外喫煙場所を設置し、喫煙場所の標識や柵による区画など、喫煙者以外が立ち入らないようにしているが、配慮の欠けた特定屋外喫煙場所により市民への健康被害も考えられることから設置位置の見直しや、より認識しやすい標識の掲示位置の検討など、早急に改善策を検討していく。また、職員の健康の保持増進のため、「禁煙タイム」の導入や、禁煙サポート相談も実施している。職員への禁煙外来受診料補助については、実施に向け検討していく。

代表質問



中山欽哉 議員

市長の多選について

**Q1.** 市長の多選について弊害はないと考えているのか。

**A1.** 同一の者が長期に在任することで様々な弊害を生じやすく、好ましくないのではという考えは今も変わっていない。

さいたま国際マラソンについて

**Q2.** さいたま国際マラソン中止の経緯を問う。また、市長自身も走ったと聞か参加費は払ったのか。

**A2.** さいたま国際マラソンの5年間に要した総額は約11億9千万である。日本陸上競技連盟から有力選手の出場が見送られる可能性が高く、継続困難との説明を受けた。市長は公務として過去3回出場した。なお参加費については、3回のうち2回は組織委員会の一員として参加したため支払っていない。

地下鉄7号線の延伸について

**Q3.** 市長は平成24年に「5年後の事業着手を目指す」と宣言したが、平成29年には採算性を考慮して延期しているが、地下鉄の延伸はいつ実行となるのか。

**A3.** 市単独では解決できない課題もあり、今後も関係者間で十分に議論し、課題を一つずつクリアしながら、一日も早い実現のため最善の努力をしていく。

代表質問



青羽健仁 議員

予算委員会

**Q1.** 美園で開催されているみそのいちというイベントがあります。素晴らしいイベントだと思うのですが実情を聞いてみると、実際に市がどこまでかかわっているのかなという疑問を持っている方が多くいらっしゃいます。しっかりこの事業に関して市が関わっているのか？

**A1.** これまでも経済部局、区役所等とは連携していたこともありますけれども、これまで以上に経済部局ですとか区役所、こういったところと連携協力を得ながら事業の方を推進してまいりたいと考えております。使用料の部分、費用面、こういったところが農家さんにとってハードルとならないような出店料、使用料の調整を今現在図っているところです。



都築龍太 議員

**Q1.** 台風19号の特別委員会の提言も踏まえ、油面川の排水機場の工事を予定より前倒しして、工期を短縮する内容が補正予算に示されているが、具体的な中身が知りたい。また完成前の対応と洪水の地下貯留についても聞きたい。

**A1.** 現在、油面川排水機場の吐出水槽工事をやっており、そのあと上屋建築工事を発注する。令和2年度は、機械電気の製作を行い、その後、ポンプや制御盤を製作し、令和4年の夏までに完了させる。それまでは仮ポンプの増設を検討している。(現在、工事中の道場三室線沿いに油面川の水をコントロールする地下貯留施設を3ヶ所、合計1200立方メートルを設置する補足説明あり)



島崎 豊 議員

**Q1.** 子ども家庭総合センターの相談機能は想定通り機能しているか。

**A1.** 1階に遊びに来ている子どもたちと、コンシェルジュが普通に遊びながら自然な形で課題を聞き出し、それを相談につなげています。今後もコンシェルジュと相談員の連携、質的な向上を目指し、相談機能を充実させます。

**Q2.** 民設放課後児童クラブのAED設置について。

**A2.** 現在民設クラブでは各運営者が設置することで進めていますが、子どもの命を守るという観点から、AEDを設置できる費用経費も含めた委託料の増額等引き続き取り組んでまいります。



玉井哲夫 議員

**Q1.** 柔道や剣道の部活動や授業を安全に行う武道場の未整備中学校が岩槻区に8校、中央区2校あるが、令和2年度における整備に向けた取組状況を伺う。

**A1.** これまでも武道場の必要性は認識している、財政的な課題もあるが、令和2年度に実質的にどのような形でこれが実現するかということの具体的な検討に入っていると思います。



新井森夫 議員

総合政策委員会

ふるさと納税について

**Q1.** 本市の市外からの受入れ額と市民税控除額(流失額)について伺う。

**A1.** 受入れ額は915.4万円、控除額は41.2億円となっている。

**Q2.** この状況をどう認識し、対応しているか伺う。

**A2.** 多額の市民税が減少していることを非常に厳しく受け止め今後の財政運営に影響がでるとも認識している。本市の取組や魅力を広く発信すべく、クリテリウム、レッズ、鉄道博物館、盆栽美術館、伝統産業関連等の返礼品の拡充を図っています。なお、流失額の4分の3は国が交付税で補填することになっており、本市も補填を受けています。当面の間不交付団体に転ずる可能性はないと考える。



野口吉明 議員

まちづくり委員会

**Q1.** 鹿手袋1丁目地内の一時冠水状況と、今後の対策について、伺いたい。

**A1.** 鹿手袋1丁目のJR武蔵野線高架下や、交差点付近は、雨水が排水されず溜まるという状況が台風19号でも起こっておりました。今後、鴻沼川の排水箇所など再度調査し、雨水が速やかに排水できるように対策を検討します。

**Q2.** 鴻沼川「たがい橋」付近の水量監視カメラ設置について。

**A2.** 台風19号では、鴻沼川も危険状態でありました。現在水位を確認するカメラは1か所であり、今後は遠隔で確認する為、増設が必要であります。自ら避難する判断材料や高齢者等に対して、地域の方と共に助け合う、自助・共助の一役を担うと認識しており、今までの経緯を含め埼玉県に要望してまいります。



萩原章弘 議員

常任委員会議案外質問

市民生活委員会

各地域の事情に合わせた、支所の大きさについて

**Q1.** 各地域にある支所については、市民利用の規模感に合わせて敷地設定や、人員配置について将来に向けての対策が必要であると考えか。

**A1.** 支所につきましては、旧市から引き継ぎというところは確かに否め難いところではございますが、現在のニーズ、将来のニーズというのがございますので、そのあたりを踏まえまして研究など必要な時期が参るかと思っています。



伊藤 仕 議員

議会改革推進特別委員会

**Q1.** 平成22年4月1日施行された、さいたま市議会基本条例の精査ということだが、施行後10年も経過し、当然人口も増えている。時代に合った条例に変えていくことは必要である。不備な部分や早急になおすべきところがあるのか。

**A1.** 議会基本条例の目的は、議会運営を機能強化し、自治立法権、自治行政権並びに自治財政権を備えた地方政府を確立し、積極的に市民の意見を聴取し、最も適切な議会意思を決定するなど市民福祉の向上と市の健全な発展を実現することです。他市との比較も含め、さいたま市議会にとって本当に必要な事項なのかデータを取りながら精査していく。



帆足和之 議員